

# 知的財産の取り組み

知的財産を創出する仕組みづくり、そして事業の競争優位性と自由度の確保及び事業収益拡大の実現のために取り組んでいます。

## 方針と目標

カシオの経営理念は、「創造 貢献」にあります。カシオは、まず発明・発見など創造的活動を行い、そこから独創的なニーズを生み出してきています。まさに、前例がないもの、ユニークなものを、世に生み出し続けています。

こうした背景から、カシオは知的財産が企業の重要な経営資源であると認識し、第三者の知的財産を尊重しながらカシオ独自の知的財産活動によって事業を守り、企業収益への貢献を目指しています。

## 知的財産活動推進の方針

カシオは、知的財産活動を効果的に推進し、その成果を適正に管理(確保・保護)するための方針・目標として、次の4点を掲げています。

1. カシオを技術と共に知的財産(権)の強い企業にする
2. 知的財産(権)の活用
3. 知的財産(権)のリスク回避の推進
4. 知的財産人材の育成



知的財産活動推進の方針 (詳細)

## 第三者の知的財産の尊重

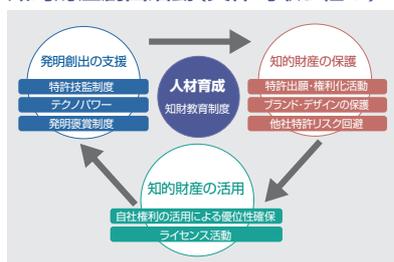
カシオはCSRの視点から関連法令の順守及び第三者の知的財産権を尊重し、研究開発から実用化にいたる全ての段階で他社特許の侵害回避に最大限努めています。

さらに、自社の権利に対する侵害についても適切に対応できるよう努めています。

## 知的財産活動

カシオはこれまで蓄積した知的財産を適正に管理する一方で、新たな知的財産となる研究・開発成果を継続的に生み出せるよう各種の知的財産制度を整備し、知的財産活動を効果的に推進しています。

### 知的財産創出活動(具体的取り組み)



## 発明創出の支援

①特許技監制度 優れた知的財産を継続的に生み出すために1994年に始まった制度です。技術理解度が高く、リーダーシップがとれる優秀な技術者を「特許技監」として事業部ごとに配置し、重点発明の創出活動・発明発掘・発明の評価・他社特許回避等、自部門の知的財産強化に努めています。



全社特許技監会議開催 (2006年11月)

②テクノパワー 「技術開発者の活性化・技術の共有化と蓄積」を目的とした制度です。経営層に対する成果発表、技術者の情報共有化、特許発明成果の展示会開催を行っています。さらに優秀特許発明者に対する褒賞を行い、誇りとやりがいを持って新技術へ挑戦し、その努力の成果を承認する開発風土を育てています。



テクノパワー (2006年9月)

## 知的財産の保護

### ①特許出願・権利化活動

重点技術分野の出願・登録(選択と集中)による特許網の構築、及び基本特許・デファクト特許の確立を目指しています。また、欧米のみならず、中国、韓国、台湾等のアジア諸国においてもグローバルな特許出願・権利化活動に取り組んでいます。



グローバルな特許ポートフォリオ

### ②ブランド・デザインの保護

お客様に信頼されるブランドとして、そのブランドの価値の保護と維持に努めています。また、グローバルにブランド・デザインを権利化してブランドイメージを損なう模倣品等の不正製造者からブランドを守る活動を関係国と積極的に推進しています。



侵害品対策状況